

ムギ類赤かび病情報第2号

平成26年5月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

今後の気象状況に注意しましょう

1 赤かび病の感染

赤かび病の第1次伝染源は子のう胞子で、湿潤状態で飛散します。雨が降った当日から2日後にかけて子のう胞子が多く飛散するため、降雨後は赤かび病菌に感染する可能性が高まります。また、発病穂からの第2次伝染は降雨時におこります。したがって、雨がやんだら早急に防除を行うことが大切です。

2 今後の気象状況と赤かび病の発生予測

名古屋地方气象台5月1日発表の1か月予報によると、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れる日が多い見込みです。気温は低い確率が40%、降水量は平年並と低い確率がともに40%、日照時間は平年並の確率が40%と予想されており、赤かび病が多発する気象条件ではありません。しかし、開花期から乳熟期に降雨が続く場合は急激に発病が広がるので、今後の気象状況によっては注意が必要です。

3 防除対策

ほ場で発病穂が認められ、降雨が予想される場合は、発病穂からの第2次伝染による被害を防止するため、乳熟期頃を目安に防除が必要になります。2回目の防除の場合は、なるべく1回目防除と異なる系統の薬剤を地域の実情に応じて表から選んでください。

なお、排水不良のほ場では、本病の発生が助長されますので、排水溝の手入れを実施しましょう。

表 コムギ赤かび病の主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	使用回数	系統
バルコート水和剤	収穫21日前まで	3回以内(出穂期以降は1回以内)	グアニジン
ストロビーフロアブル	収穫14日前まで	3回以内	ストロビルリン
トップジンM水和剤	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)	ベンズイミダゾール
ベフラン液剤25	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は1回以内)	グアニジン
シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	E B I
チルト乳剤25	収穫3日前まで	3回以内	E B I

(無人ヘリコプター用)			
トップジンMゾル	収穫14日前まで	3回以内(出穂期以降は2回以内)	ベンズイミダゾール
チルト乳剤25	収穫7日前まで	3回以内	E B I
シルバキュアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	E B I